

## 米民主党リード院内総務、「特許改革法案」を優先法案の一つと明示

2008年1月24日  
JETRO NY 澤井、中山

米上院多数党院内総務(Senate Majority Leader)であるハリー・リード議員(民、ネバダ)は、第110議会第2会期(2008年会期)の会期日にあたる22日、今会期の優先法案の一つとして、「特許改革法案」を明示した。

同多数党院内総務のホームページ<sup>1</sup>には、同氏の議場における配付用陳述原稿が記されており、ここには、今会期において「景気刺激策関連法案(economic stimulus package)」の早期成立を目指すとともに、他に優先すべき重要法案をいくつか列挙している。かかる重要法案のうち、特に優先するものとして、「Indian Health Care Improvement Act」、「Foreign Intelligence Surveillance bill」、「Defense Authorization bill」を列挙。これらに準ずる優先法案として、「特許改革法案(Patent Reform)」と「エネルギー関連法案(energy package)」を挙げている。

特に、特許改革法案については、本来ならば昨年中に通過するものであったとしつつ、企業のイノベーションを阻害することなく均衡の取れた法案となるよう注視するとした。下院の特許改革法案は、昨年9月7日に本会議を既に通過<sup>2</sup>しているところ。

なお、議会記録(Congressional Record)によれば、特許改革法案に関する議場での同氏の実際の発言は、「特許改革についても見ていきたい(We will also look at patent reform)」とする短いものであった。

本年前半の上院スケジュールを見ると、2月中旬(18日プレジデント・デーの週)及び3月下旬(17, 25日の週のイースターを挟む二週間)に休会が予定されていることから、院内総務のこの陳述原稿は、2月上旬までに上記「景気刺激策関連法案」等の法案を通過させ、2月下旬以降に「特許改革法案」等の通過を目指す読むこともできる。

(了)

---

<sup>1</sup> <http://reid.senate.gov/newsroom/record.cfm?id=291027&>

<sup>2</sup> [2007年9月7日付け知財ニュース「特許改革法案、下院を通過」](#)を参照